



## 新宿区立四谷小学校

# 学校運営協議会だより

第1巻 第11号

平成23年 3月 7日

第11回運営協議会

2/21(月)実施

次 第

(1) 代表挨拶

(2) 現状報告

・研究発表会

平成23年2月25日

確かな学力を育てる  
指導法の研究  
～ICTを活用して～

・学校評価  
学校関係者評価

・5周年式典  
(平成23年度)

これからの予定

・卒業式 入学式

・来年度教育課程の届出

(3) 来年度の活動

・今年度、  
創世記の活動  
、論議に感謝  
・来年度、  
5周年式典開催、  
支援活動部を中心に

(4) 委員の皆さまから

(5) その他

\*説明は明朝体、

提案・意見はゴシック、

決定事項は斜

体で示します。

### 田谷代表より

2月もまもなく終了であるが、四谷地区では、地域行事も盛りだくさんである。四谷4丁目の町会でのお祭りがあって、子どもたちが昔遊びをしたり絵馬を書いたりする活動もあった。いろいろな体験を若若男女交えて参加する餅つきを入れたローカルなイベントは、若い親と地域のお年寄りが知り合えるという長所がある。また、お互いの顔を知り合うことは、新たな関係を築くきっかけとして非常に大切なことであり地域の安全にもつながる。

### 校長より

・地域の中での縁が大切であり、みんなでそういう面を育てていきたい。現在、人とのつながりが薄れてきているのは確かであり、支援活動部の取り組みが学校と地域との接点になってほしい。  
・研究発表がよいよ目の前に迫り、現在、研究発表の当日の指導に向けて努力している。講師は玉川大学教職大学院教授の堀田先生。新宿区はもちろん、地方からも多数来校される予定である。



(研究発表会当日の一幕)

・新宿区は、3年計画で教師一人に一台のパソコンが配布された。IT教卓にある機器を準備時間がほとんどなしで活用ができる。子供たちの学習でも一人一台が使える環境になった。パソコンによる校務支援システムの活用によって、例えば朝の打合せを非常に短い時間で終わらせるようになってきている。  
・学校評価を進めてきている。学校関係者評価を実施して年間の評価を進めていく。評価結果や意見を生かしていきたい。  
・来年度からは、振替をとらない土曜日の授業参観等を実施することになる。  
・5周年の式典の場では、学校および子ども園の開校・開園を祝いたいと思っている。祝賀会の持ち方については、今後検討していく。メモリアルコーナーには既に整備された資料があるので、有効に活用していく。

### これからの予定

・現在卒業生は、67名、新入生は76名となっている。35人学級については、近々確定するが、38人の2クラスの準備を進めている。  
・来年度の子供たちの教育を進めていくもとなる教育課程の提出も済み、目標や重点、授業時数等の最終の確定作業を行っている。決定次第、お示ししたい。

### 会議録から

・来年度の本校の支援部会としては、読書活動支援部と環境美化支援部を中心に、子供たちの学習支援として新しく立ち上げていく。先日、5年生の神田川親水テラスの見学に、保護者の方々の支援を受けた。前回提案された事前登録制のカードを発行していく形をいよいよ実現していく方向にしたい。  
・健全育成に関する活動部については、難しい部分もあり、PTAで既に担っている部分との整理が必要となってくる。居場所の活動についても具体的に検討する。来月には一応結論を出していく方向で確認する。  
・PTAの活動としての通学路パトロールは、親と子が一緒に帰ることによる活動を実践していただいている。  
・挨拶運動は、地区協議会が参加しているが、現在はPTAの参加はほとんどない。挨拶運動を支援部会の中しっかりと位置付けていく方向で進めていく。  
・支援部会の活動が、取り組みやすく、みんなで取り組むことの楽しさを打ち出していく。PTAの保護者の方々にも、わかりやすく、特に、子供が小さい保護者の方々にとって、地域が伝わりやすく、活動に参加することで、子供たちの成長を共有できるお互いの良さを享受する機会としていく。

### 来年度の活動について

・学校自体が人材バンクであるという考え方もできる。今年度、創生期の活動として、丁寧な議論を行っていく。ボランティア募集も本格稼働させていく。



(整備されたPC室での学習)

※次回は、3月14日(月)午後7時から行います。